

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R7年 1月 31日

事業所名: 笑顔学園リトルベア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・クールダウンできるスペースが何か所かあれば、もっと良いと思います。
	2 職員の配置数は適切である	○		・他事業所よりも多めに配置している。	・男性職員を増やしていきたい。 ・配置は大丈夫ですが、人手が足りないと感じる時があります。 ・人手は足りないと感じます。 ・離職率が高く、人手不足になっていると思う。 ・現場の職員をもっと大切にほしい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・階段は広く、手すりを設置している。	・2階に上がるには階段しかない。 ・避難ように、螺旋状のすべり台が欲しい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・昼礼、終礼やミーティングなどを行っている。	・ミーティングの回数を増やしていきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・回答しやすいようにGoogleでのアンケートにしている。	・全職員と情報共有し、業務改善に繋げていく。 ・紙の回答票も準備しておけばよかった。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・年に一度ホームページで公開している。 ・事業所内では回覧している。	・ホームページ更新時に案内をしていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部のオンライン研修や、事業所内での研修をする機会を設けている。 ・毎月の研修、3ヶ月に1回の事例発表を行っている。	・外部研修などに行くことができる環境を整えていきたい。 ・接遇など、しっかり研修を受けるようにしていきたい。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・全職員が個々のニーズや課題を把握し、意見を出し合っている。	学校とも連携、情報共有をして課題に向き合っていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員で活動内容を決めるようにしている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・新しい活動が難しかったりするため、今できることを続けていることが多い。	難易度が調整しやすい内容を中心に、他施設の活動を参考に新しい活動を増やしていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・長期休暇が始まる前には集まって、過ごし方を再度話し合っている。	・自由時間を充実して過ごせるように物品などの選定当を行っていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝の申し送り、昼礼にて確認している。	変更等がある場合は確実に情報共有をする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・参加できる職員で終礼を行っている。	・報告だけではなく、踏み込んで話し合いのできる時間を作れるようにしていきたい。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・活動日誌に、個別の支援記録が記入できるようにしている。	・記録のまとめを全員が確認する体制を整えていく。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・併用されている他事業所や相談支援員さんと一緒にモニタリングを行えるようにしている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校との連絡調整を確実に行っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・医療的ケア児の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・グループ内では情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・卒業生がいる場合は情報共有しているが、本年度はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・研修に参加できるような体制を作っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳、送迎時に情報共有するようにしている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・まずは支援者の勉強をしていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・丁寧に伝えるようにはしているが、分かり易く説明できるようにしていきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・どのスタッフも相談を聞けるような話しやすさなどを心掛けるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・今年度は1度行い、大変好評であった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・今年度中に、もう一度開催したいと思っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月1回の活動のお知らせ、2ヶ月に1回の写真のおたより、LINEの活用で発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・行えるような環境を整えていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	・保護者様に周知できていない。	・保護者様用を作成していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年2回以上の訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止委員会・研修会を開催している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・医師の指示書は預かっていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	・ヒヤリハット報告書は、いつでも閲覧できる状態ではあるが、事例集にまとめていない。	・記入した事例をまとめられるツールを考えていく。